

## 4 死亡の状況

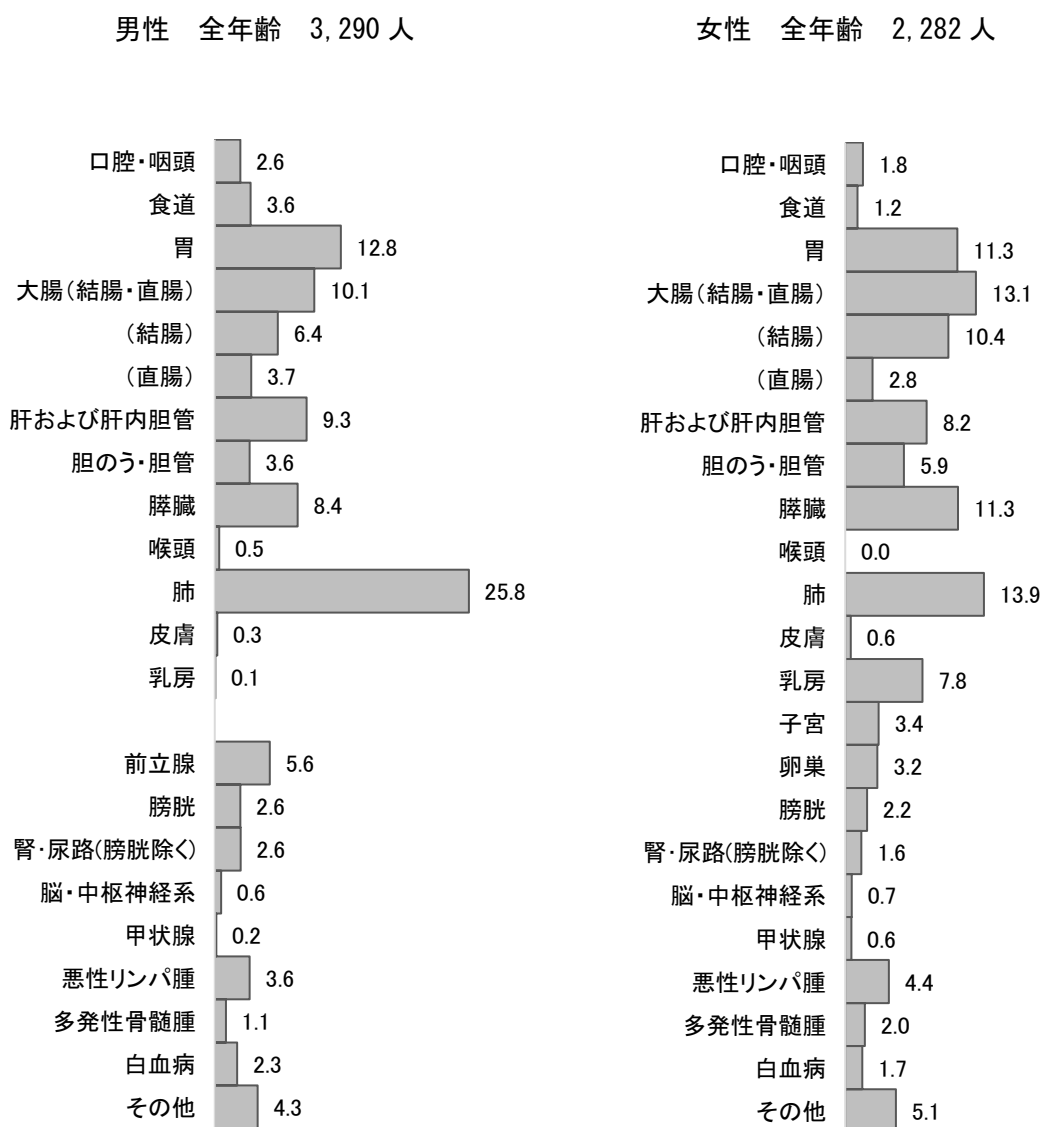
### (1) 死亡の概要

岡山県において、がんを原因として死亡した者の数は、男性 3,290 人、女性 2,282 人、合計 5,572 人であった。

部位別では、男性は肺（849 人、25.8%（全部位に占める割合、以下同じ））が最も多く、次いで胃（421 人、12.8%）、大腸（333 人、10.1%）の順となっている。また、女性では肺（318 人、13.9%）が最も多く、次いで、大腸（300 人、13.1%）、膵臓（259 人、11.3%）、胃（257 人、11.3%）の順となっている。

【図 17】

図 17 部位内訳（%）（表 9 から作成）

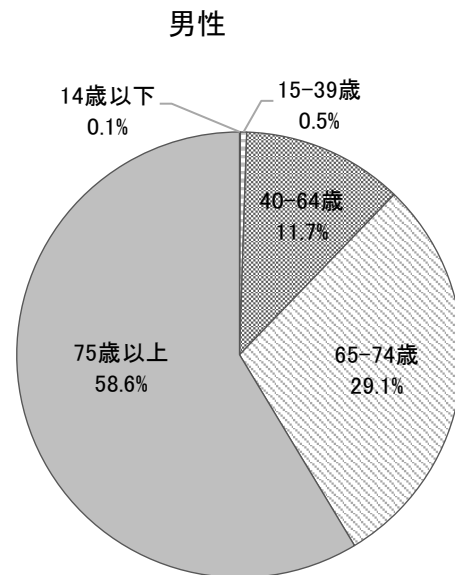


## (2) 年齢別に見たがんの死亡

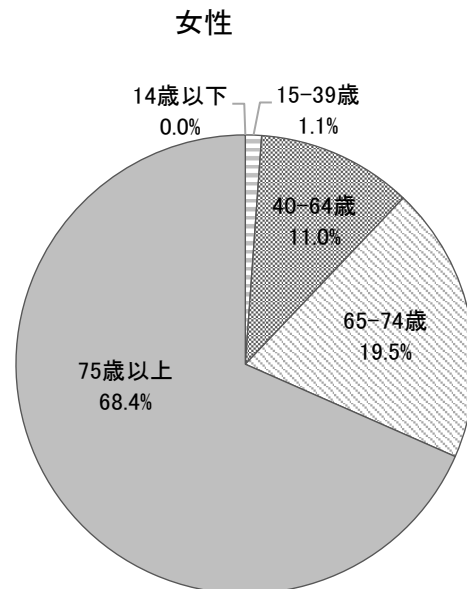
がんによる死亡について年齢階級別内訳をみると、男性では全体の約 87.7%、女性では全体の約 87.9%が 65 歳以上である。【図 18】

図 18 年齢階級別内訳 (%) (表 10 から作成)

年齢階級	男性 (人)
14 歳以下	2
15-39 歳	15
40-64 歳	385
65-74 歳	959
75 歳以上	1,929
総数	3,290

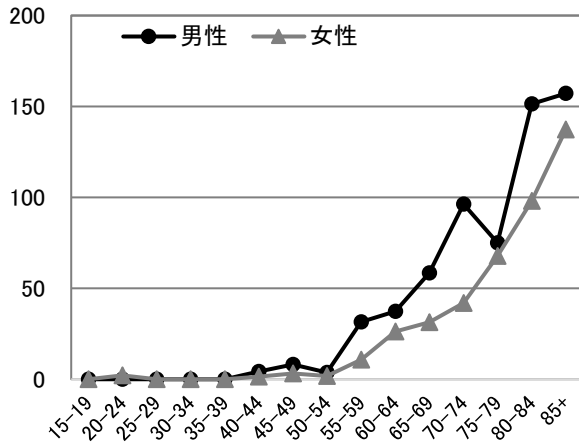


年齢階級	女性 (人)
14 歳以下	0
15-39 歳	26
40-64 歳	250
65-74 歳	445
75 歳以上	1,561
総数	2,282

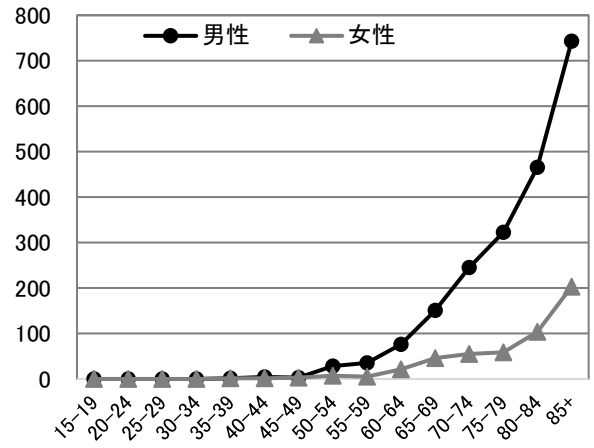




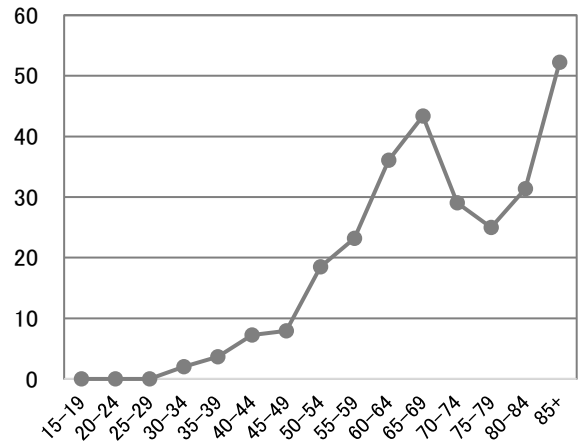
膵臓



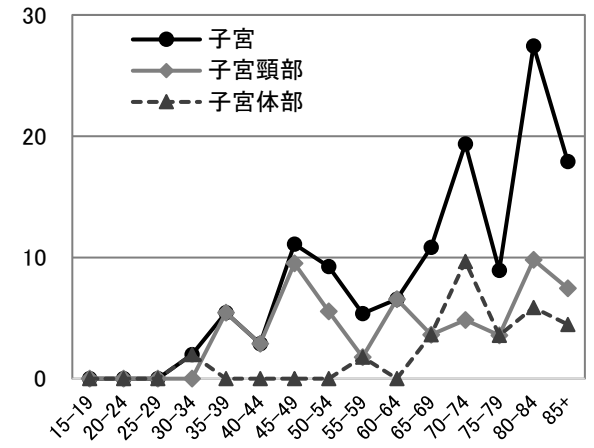
肺



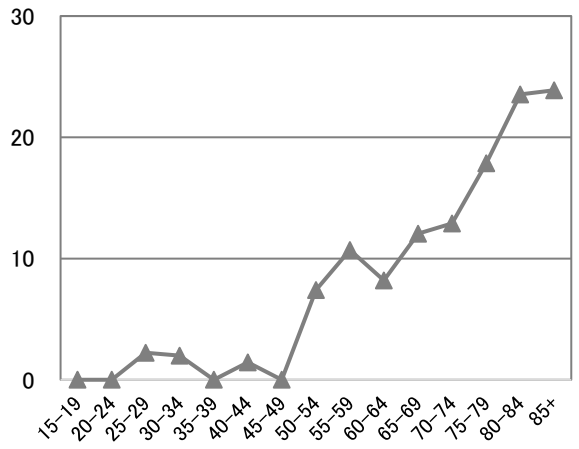
乳房 (女性のみ)



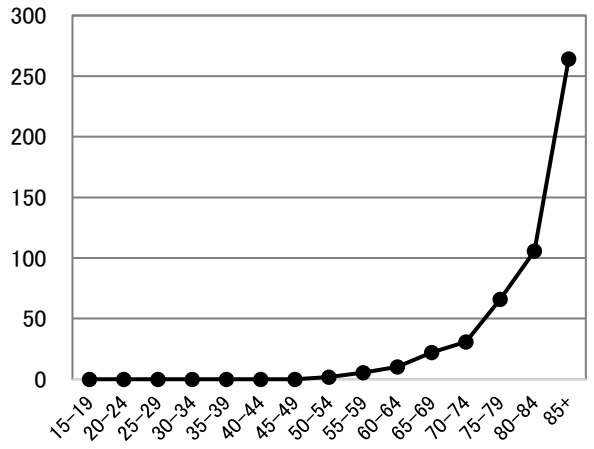
子宮



卵巣



前立腺



### (3) 岡山県のがんの死亡の特徴

部位別の粗死亡率と年齢調整死亡率について、厚生労働省の「人口動態統計」による全国値との比較を示した。

年齢調整死亡率で見ると、ほとんどの部位において岡山県は全国値を下回っている。【図 20・21】

図 20 部位別粗死亡率：人口 10 万対（表 9、人口動態統計から作成）

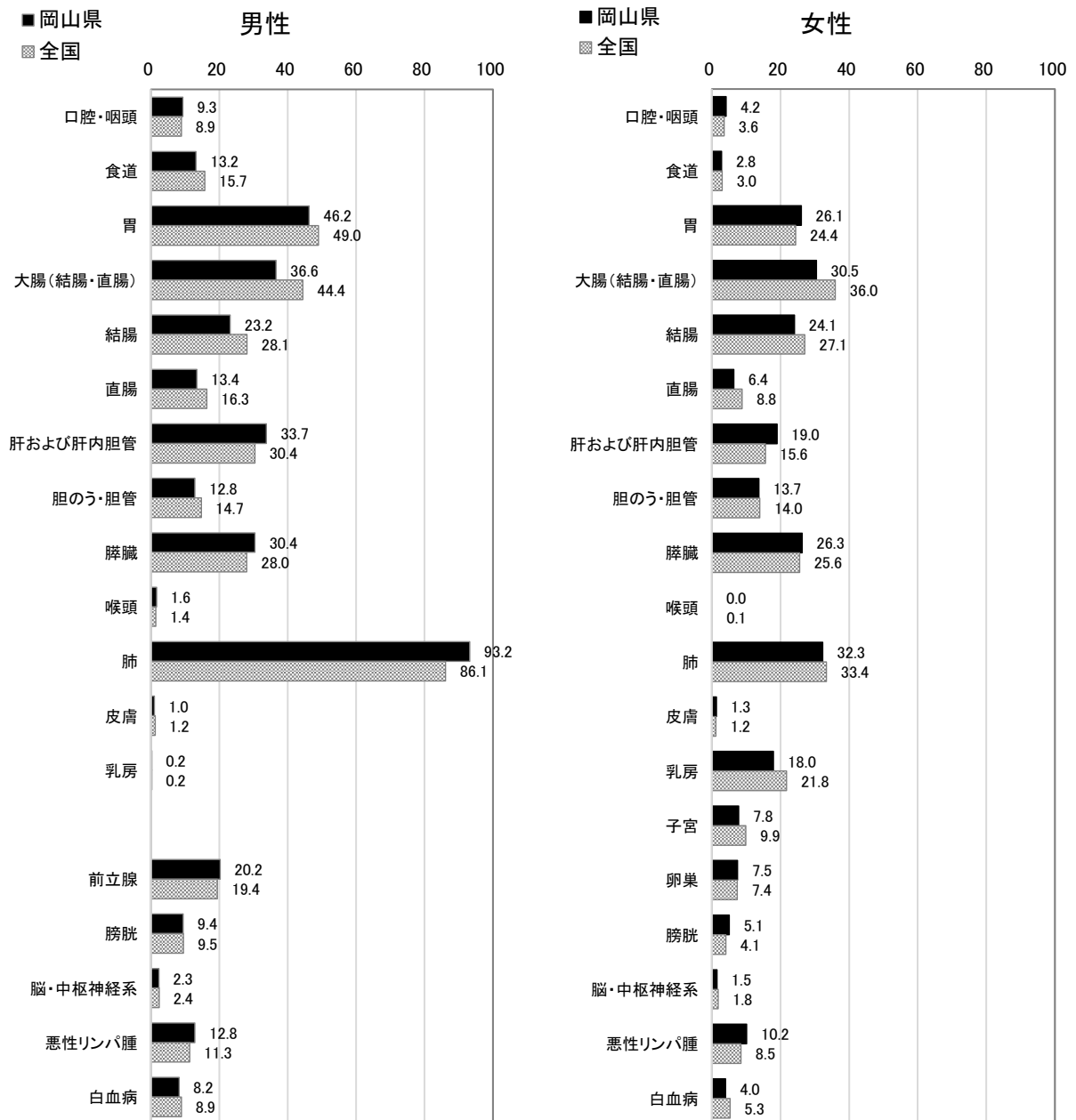


図 21 部位別年齢調整死亡率：人口 10 万対（表 9、人口動態統計から作成）

